



高尾台中学校学習通信第9号

令和7年1月吉日
金沢市立高尾台中学校
学習研究部

1月の学習目標について

「新しい気持ちで学習の目標を立てよう」
2025年 あなたが学習面で達成したいことは何ですか？
(下に書いてみよう!)

新年明けましておめでとうございます。新しい1年が始まりましたね。冬休みの学習はどうでしたか？よく頑張った人もそうでない人も、気持ち新たに3学期の学習に取り組んでいきましょう。

1月の学習目標は「**新しい気持ちで学習の目標を立てよう**」です。あと3ヶ月後には、皆さんは高校1年生、中学3年生、中学2年生になります。これまでの反省を踏まえ、今の学年での学習を大事にしてください。まずは、頭を休みモードから授業モードに切り替えるためにも、「授業5か条」(・学習用具を整える・ベル着をして、授業の挨拶をしっかりとる・集中して聴く・積極的に発言する・ノートを見やすく書く)や学習のルールを再確認し、全員で授業に参加してください。何度も述べてきましたが、授業の主役は先生たちではなく君たちです。「お客様」にならず、積極的に参加してください。当たり前のことを徹底できる素敵な高尾台中生を目指しましょう。

考えよう！スマホとの付き合い方



皆さんはスマホやタブレットを持っていますか。おそらく、多くの人が「はい」と答えるのではないのでしょうか。現在持っている人は今一度、その使い方を見直してみましょう。スマホやタブレットなどに時間をとられてしまい、家庭学習がおろそかになる…これは大問題です。目指す進路に届くわけありませんよね。今、目の前の楽しさを優先して将来苦労したいですか？今持っていない人は、このまま持たない。持っている人は自分に厳しくルールを決めて使う。ぜひお願いします。

携帯・スマホを長時間使う子どもの学力が低いと聞けば、多くの人は「家で勉強せずに携帯・スマホをいじっているから当然だ」と思います。ところが、家で勉強する生徒もしない生徒も、携帯・スマホを長時間使用すると成績が低下するのです。(中略)ということは、スマホを使えば使うほど、自宅学習はおろか、学校で学んだことまでも相殺されてしまっているかもしれないということなのです。この結果から想定される“最悪”の仮説は、携帯・スマホの長時間使用によって、学校での学習に悪影響を及ぼす何か、生徒の「脳」に生じたのではないかと、いうものでした。(東北大学加齢医学研究所 所長・脳科学者 川島 隆太氏)

